ミライアル株式会社
2014年1月期　第3四半期決算説明資料

2013年12月９日



ミライアル株式会社

目次

2014年1月期　第3四半期累計期間決算概要..... 2

2014年1月期　第3四半期会計期間決算概要..... 8

2014年1月期業績予想 12

弊社を取り巻く業界環境 15

トピックス 17

今後の経営戦略 20

Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

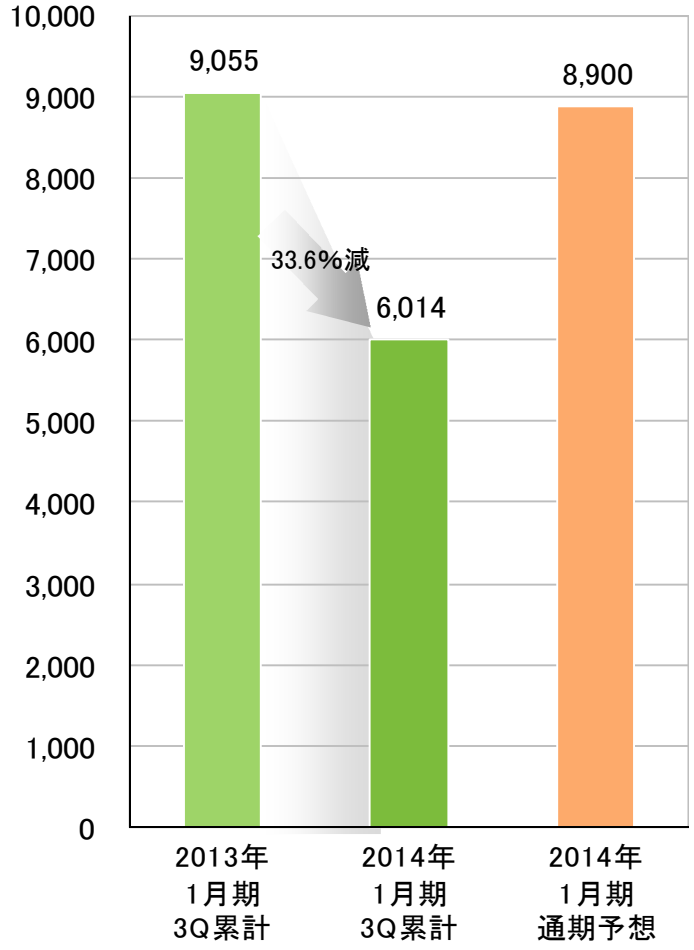
2014年1月期 第3四半期累計期間決算概要

1. 売上高/経常利益の比較(連結)

- 売上高は、プラスチック成形事業の主要販売先である半導体業界において、上期こそ緩やかな回復を見せたものの、下期に入り、市場の牽引役であるスマートフォンの需要に翳りが生じております。その影響により、販売先のデバイスメーカーにて生産調整・在庫調整が行われ、秋口より回復を見せる想定であった当社の業績も大幅な減収となりました。
- 経常利益は、コスト削減を図りましたが、稼働率の低下、新製品である450mm関連製品における減価償却費等の負担増があり、減益となりました。

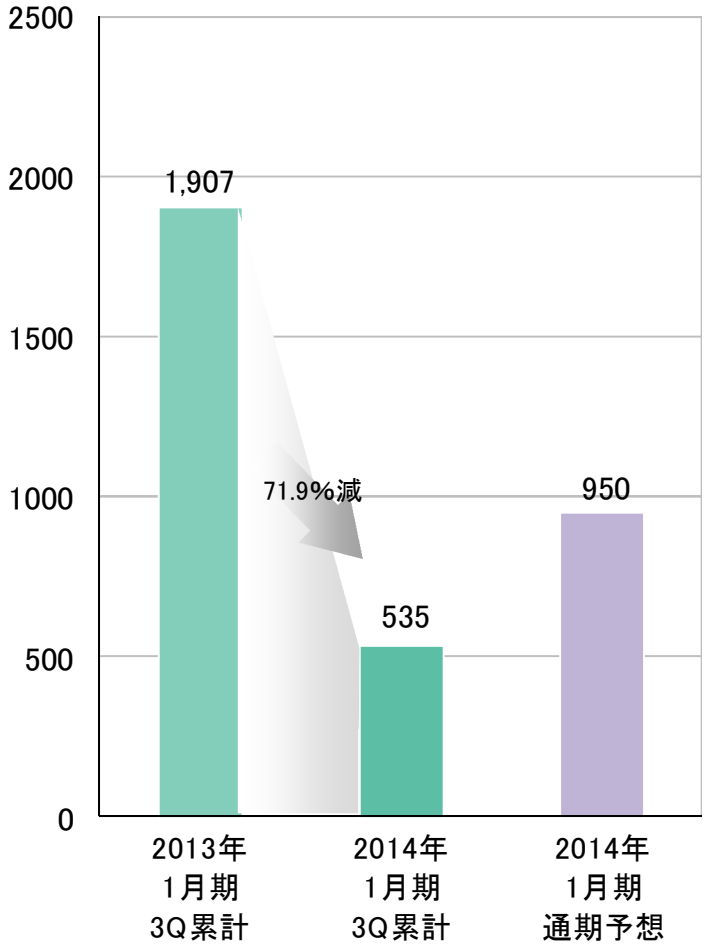
売上高(連結)

(単位:百万円)



経常利益(連結)

(単位:百万円)



Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.



2. 2014年1月期　第3四半期累計期間決算概要

連結業績

（単位：百万円・%）

	2013年1月期 第3四半期累計		2014年1月期 第3四半期累計	
	金額	前年同期増減率	金額	前年同期増減率
売上高	9,055	0.6	6,014	△33.6
売上総利益	3,514	6.1	1,658	△52.8
営業利益	1,866	0.9	436	△76.6
(営業利益率)	20.6		7.3	
経常利益	1,907	△4.9	535	△71.9
税引前当期純利益	1,816	△5.3	533	△70.6
当期純利益	1,191	16.3	352	△70.4
設備投資	928		478	
減価償却	342		462	
純資産	16,889		15,261	
総資産	21,016		18,158	

個別業績

（単位：百万円・%）

	2013年1月期 第3四半期累計		2014年1月期 第3四半期累計	
	金額	前年同期増減率	金額	前年同期増減率
売上高	7,932	2.5	5,295	△33.2
売上総利益	3,158	8.4	1,421	△55.0
営業利益	1,899	1.8	412	△78.3
(営業利益率)	24.0		7.8	
経常利益	1,931	0.2	710	△63.2
税引前当期純利益	1,922	1.7	713	△62.9
当期純利益	1,133	3.3	528	△53.4
設備投資	947		491	
減価償却	317		449	
純資産	16,552		15,034	
総資産	20,044		17,359	

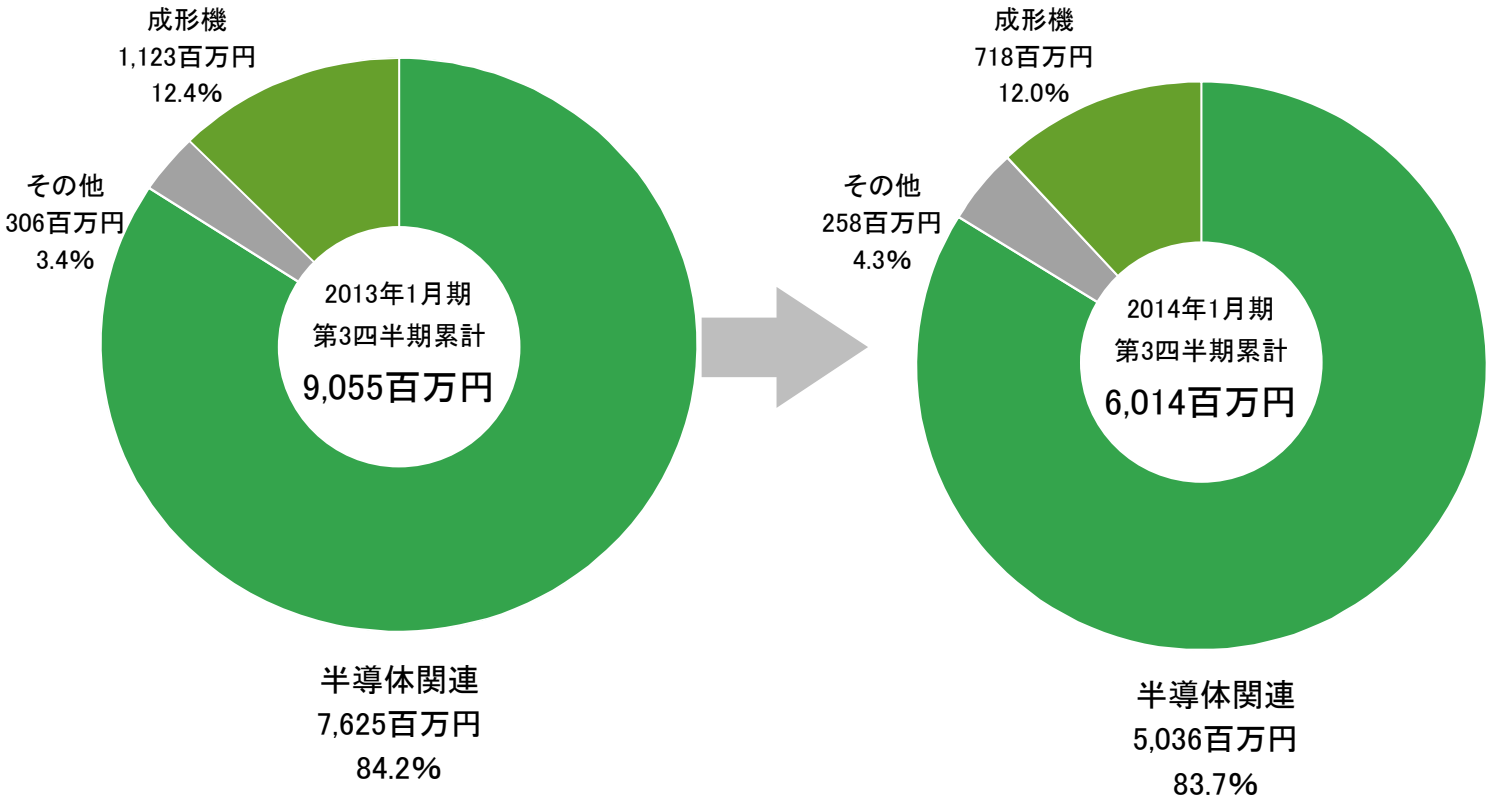
Copyright 2013 ©　Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. 事業別売上高の比較

事業別売上高（連結）

■ プラスチック成形事業
- 半導体関連事業は、33.9%減の5,036百万円。
- その他事業は、 15.7%減の258百万円。

■ 成形機事業
- 成形機事業は、36.0%減の718百万円。

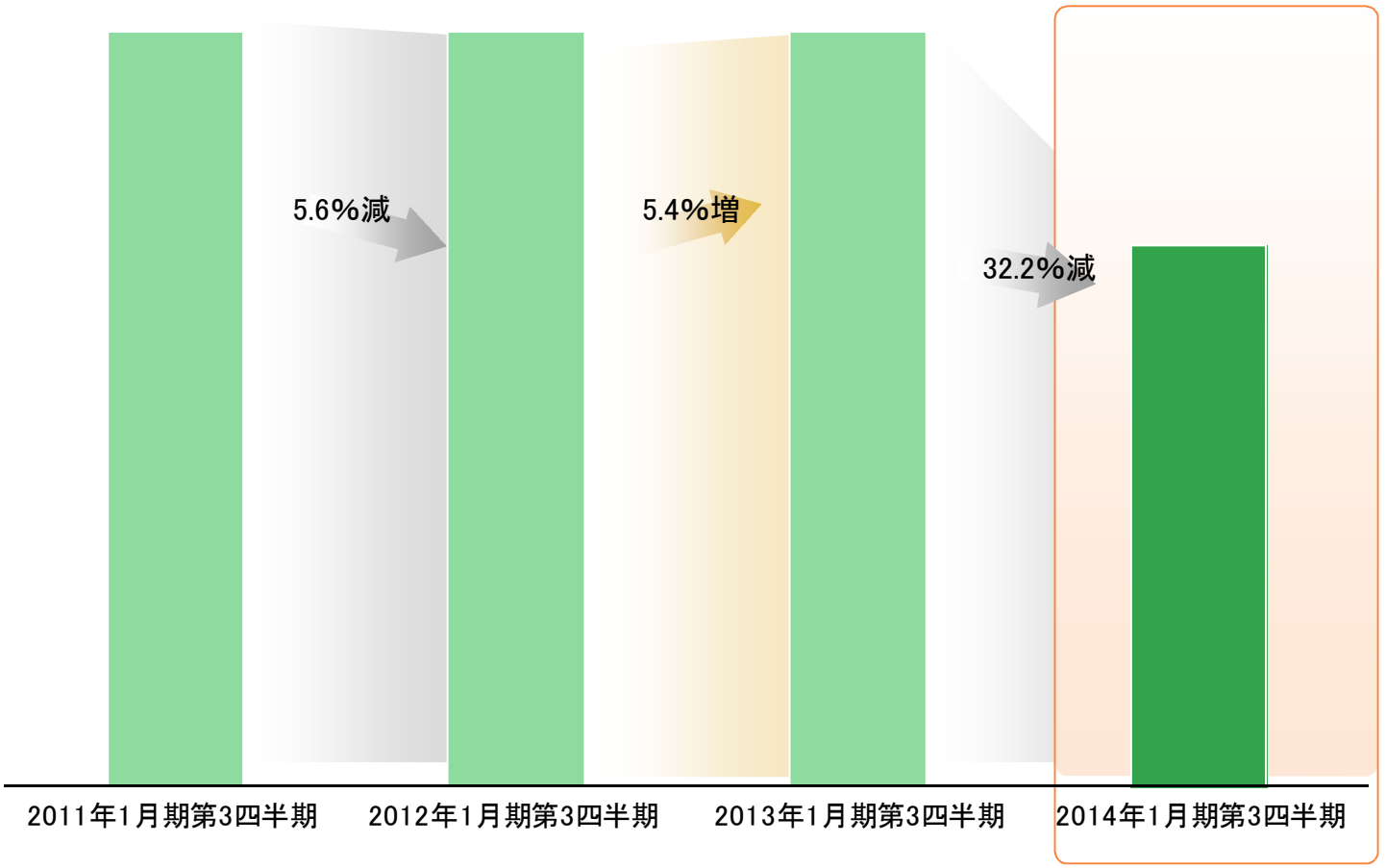


Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

4. 半導体関連製品事業の業績

■ 出荷容器は前年同期比32.2%減、工程内容器は、前年同期比47.7%減となっております。

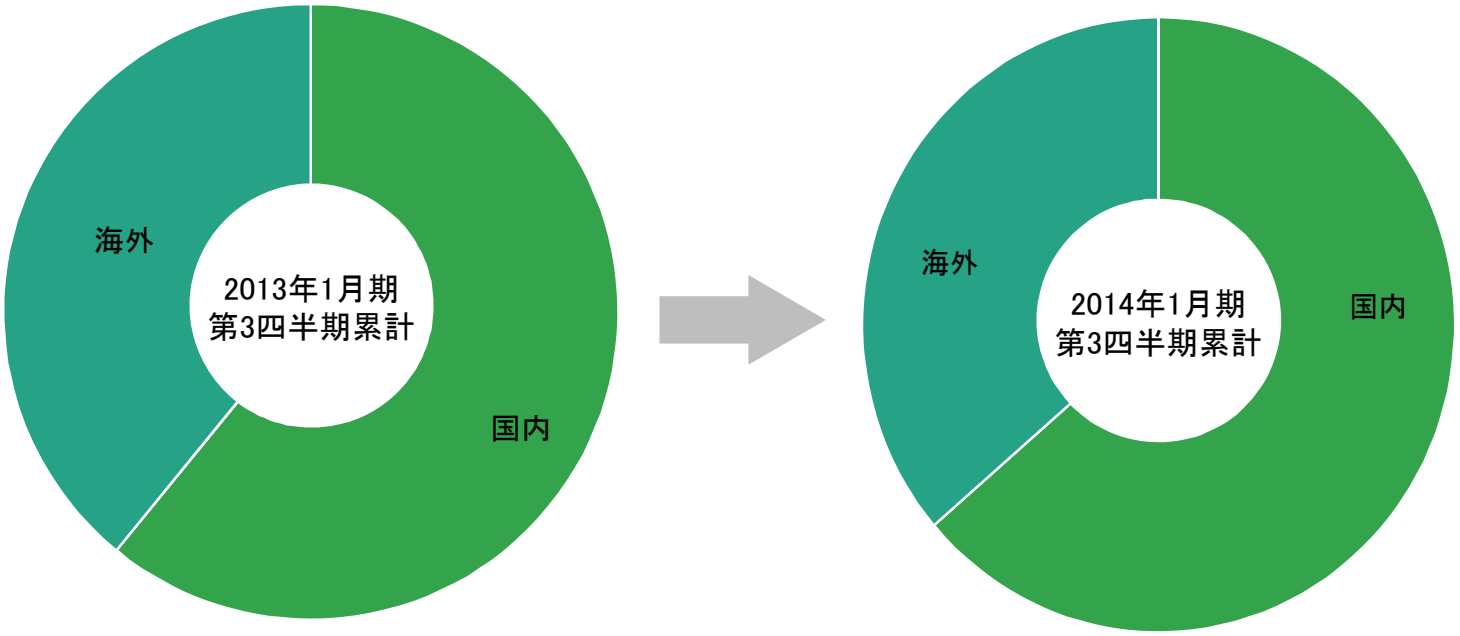
シリコンウエハ出荷容器　売上高の推移



Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

5. 地域別売上実績シェア

弊社地域別売上実績シェアの動向



Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

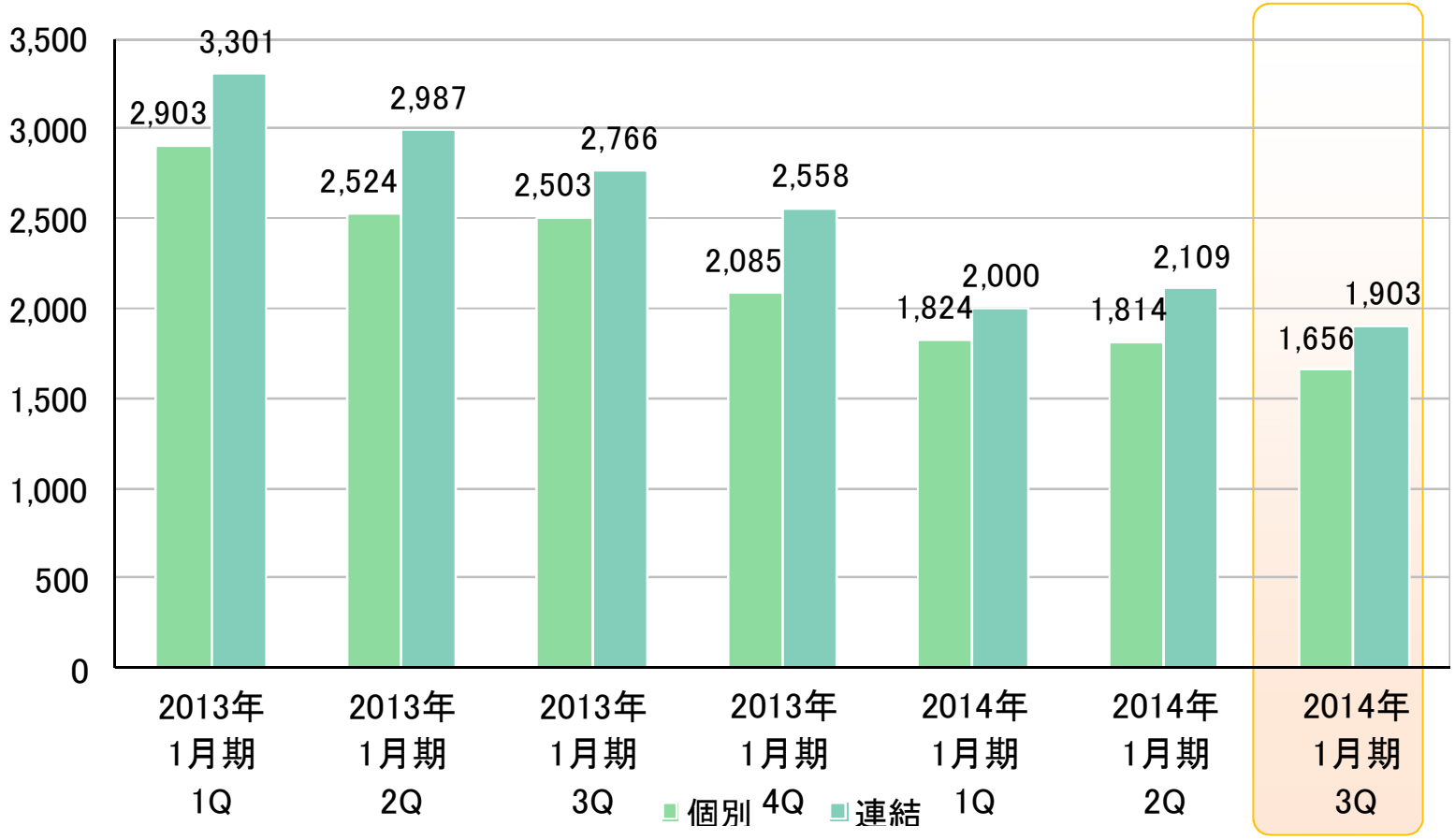
2014年1月期　第3四半期会計期間決算概要

1. 業績ハイライト

- 連結売上高は、2Qから9.8%減の1,903百万円でした。
- 個別売上高は、2Qから8.7%減の1,656百万円でした。
- ミライアル単体は、主力製品である300㎜シリコンウエハ出荷容器「FOSB」は、前年度後半からの在庫調整局面から回復の兆しは見えてきたものの、年初の想定に反して起こったスマートフォンの生産調整・在庫調整が当社製品の需要に影響し、前四半期に続き減収となりました。
- 連結子会社の㈱山城精機製作所は、前四半期後半より受注回復傾向は見られたものの、昨年後半からの受注減の影響から減収となりました

売上高推移（四半期毎）

（単位：百万円）

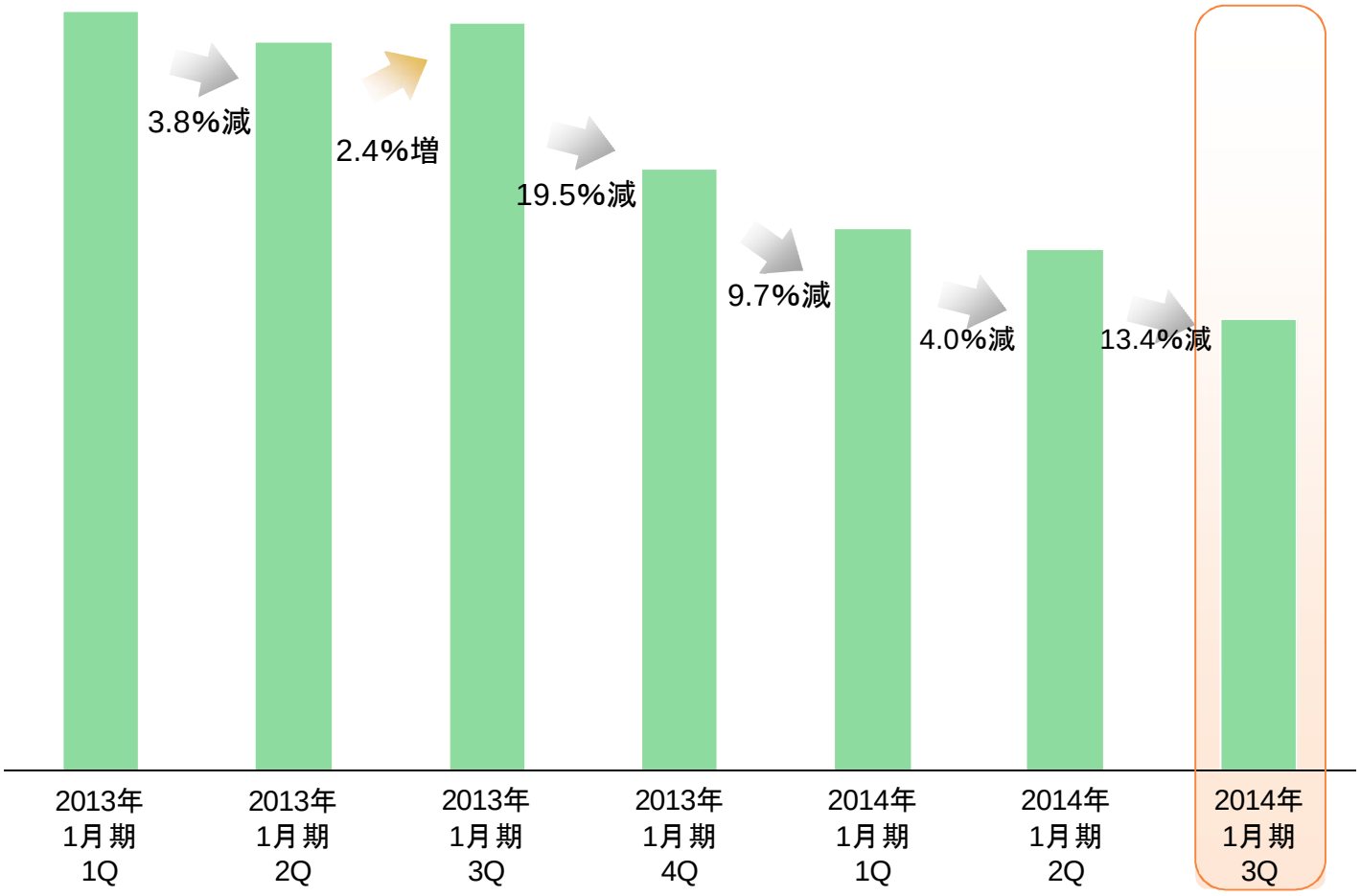


Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 半導体関連事業の業績

■ 出荷容器は、2Qから13.4%減となっております。

シリコンウエハ出荷容器　売上高の推移(四半期毎)



Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. 2014年1月期　第3四半期会計期間決算概要

連結業績

（単位：百万円・%）

	2013年1月期 第3四半期		2014年1月期 第3四半期	
	金額	前四半期増減率	金額	前四半期増減率
売上高	2,766	△7.4	1,903	△9.8
売上総利益	1,121	△4.0	456	△24.3
営業利益	543	△16.2	68	△66.2
(営業利益率)	19.6		3.6	
経常利益	552	△17.5	87	△67.3
税引前当期純利益	554	△15.9	82	△69.7
当期純利益	321	△41.0	51	△73.1
設備投資	576		254	
減価償却	147		167	
純資産	16,889		15,261	
総資産	21,016		18,158	

個別業績

（単位：百万円・%）

	2013年1月期 第3四半期		2014年1月期 第3四半期	
	金額	前四半期増減率	金額	前四半期増減率
売上高	2,503	△0.8	1,656	△8.7
売上総利益	1,051	4.5	350	△32.5
営業利益	582	△5.9	36	△80.0
(営業利益率)	23.3		2.2	
経常利益	593	△6.8	58	8.9
税引前当期純利益	595	△4.9	58	4.0
当期純利益	362	2.1	22	△186.5
設備投資	585		267	
減価償却	140		163	
純資産	16,552		15,034	
総資産	20,044		17,359	

Copyright 2013 ©　Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2014年1月期業績予想

1. 業績予想サマリー

売上高

- 世界全体の半導体市場規模は、景気循環の影響を受けながらも、マクロ的には拡大を続けていく見通しです。
- 上半期の半導体関連業界は緩やかながらも回復の傾向にありましたが、下期に入り、市場の牽引役であるスマートフォンの需要に翳りが生じております。
- スマーフォン市場の減速により、当社販売先のデバイスメーカーにおいても生産調整・在庫調整が行われ、秋口より回復を見せる想定であった当社の業績も、当初想定より回復が遅れております。
- 半導体業界の成長率は微増の予想にとどまり、品質向上と更なるコスト削減による競争力の強化を図ってまいります。
- リユースについては、足下で全体の容器量の内、30%前後で推移していると予想しています。今後も同様で推移すると見込んでいます。

営業利益、経常利益

- 450mm生産設備の減価償却費負担、研究開発力強化のための材料ラボ設立、新製品開発のための設備投資により、減価償却費が増加しております。
- グループでのコラボレーションを強化し、新分野展開、更なるコストダウンを実施します。
- 成形機事業では、市場動向を注視し、付加価値の高い特殊機に重点を置き、利益の確保に注力してまいります。

Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 業績予想

損益計算書(連結)

(単位:百万円・%)

	2013年1月期		2014年1月期(予)			
			2014年1月期 第3四半期累計			
	金額	前期増減率	金額	前期増減率	金額	前期増減率
売上高	11,613	△2.1	6,014	△33.6	8,900	△23.4
営業利益	2,203	△4.0	436	△76.6	830	△62.3
経常利益	2,275	△8.1	535	△71.9	950	△58.3
(当期)純利益	1,430	6.1	352	△70.4	610	△57.4
設備投資	991		478		905	
減価償却	536		462		662	

※今年度の配当金は、1株につき中間配当30円、期末配当30円の年間配当60円を予定しております。

事業別売上高

(単位:百万円・%)

	2013年1月期			2014年1月期(予)					
				2014年1月期 第3四半期累計					
	金額	構成比	前期増減率	金額	構成比	前期増減率	金額	構成比	前期増減率
プラスチック成形事業	10,014	86.2	△1.0	5,295	88.0	△33.2	7,670	86.2	△23.4
半導体関連	9,624	82.9	△0.1	5,036	83.7	△33.9	7,320	82.2	△23.9
その他	390	3.4	△19.6	258	4.3	△15.7	350	4.0	△10.4
成形機事業	1,598	13.8	△8.5	718	12.0	△36.0	1,230	13.8	△23.1
合計	11,613	100.0	△2.1	6,014	100.0	△33.6	8,900	100.0	△23.4

Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

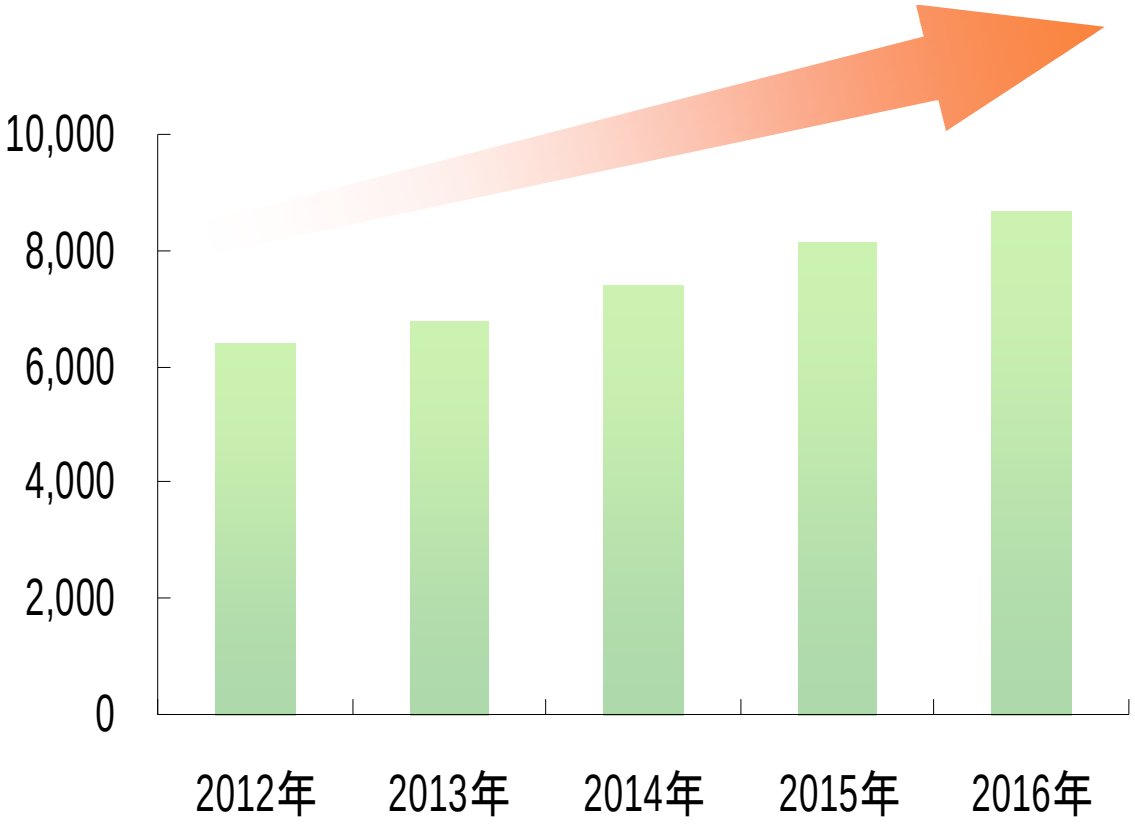
弊社を取り巻く業界環境

シリコンウエハ市場の動向

■ 弊社主力製品FOSBによって搬送される300㎜ウエハはシリコンウエハ市場の牽引役であり、今後も伸長を続けると予想されています。

■ また、小口径ウエハからの移行や、生産用途の拡大等により、一層裾野を広げていく見通しであります。

300㎜シリコンウエハ出荷面積予測(100万平方インチ)



出典:弊社推測

Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

トピックス

富の原工場に材料ラボを設置

■既存製品事業の品質向上のため、新製品・新規事業のための研究開発拠点として、ラボの設置を進めております。



設置の目的	
樹脂事業の拡大展開を企図した材料開発・製品開発	
既存製品の品質向上	
当社独自の新材料開発	
新製品・新事業に関わる研究開発	
投資額と償却	
設備投資	1.5億円（第46期）
減価償却	0.2億円（第46期下期）





Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

住吉工場屋上にメガソーラーを設置

■ 環境負荷低減へのアプローチとして、メガソーラー設備を導入しました。

■ 工場周辺環境の景観を崩さず、最も自然破壊の少ない施工方法として、住吉工場の屋根全面にソーラーパネルを配置しております。また、地域産業貢献の一環として、可能な限り地元企業の装置群を採用しております。

■ 平成25 年9 月20 日より、発電・売電を開始しております。

設備概要	
事業屋根面積	2,772 平方メートル (約840 坪)
パネル設置枚数	3,888 枚
発電能力	1,000 キロワット (1 メガワット)
年間予想発電量	1,200 メガワット (年間二酸化炭素削減量430トン相当)
投資額と償却	
設備投資	2.9億円(第46期)
減価償却	0.2億円(第46期下期)





Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

今後の経営戦略

基本方針

1.現存事業の安定利益源化

コスト削減の徹底と品質の造り込みにより、市場でのポジションを維持･向上させてまいります。

■プラスチック成形事業

当社コア技術を見直し新製品開発や販売チャネル拡大に活かすとともに、現主力製品300㎜FOSBと同様、次世代450㎜ウエハ容器においても覇権の獲得を目指してまいります。

■成形機事業

汎用機、LIM機、TF機を主力とし、特殊装置も視野に入れ拡販に取り組むとともに、竪型成形機の特長を活かした成形事業に挑戦してまいります。

2.新たな収益源の構築

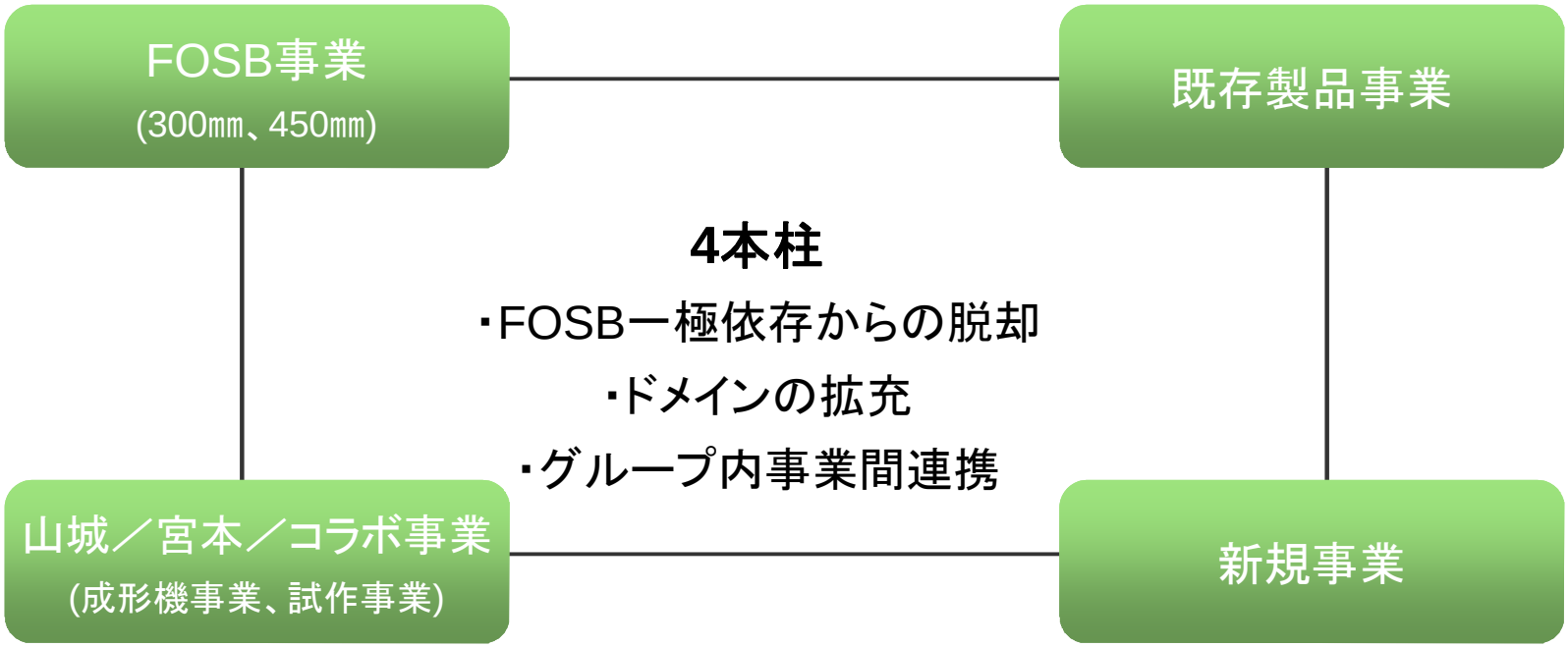
ミライアルグループのコア技術を活かした自社開発、M&Aや共同開発等、内外のリソースを有効的に活用し、新たな収益源となるべき新製品開発･新事業構築に取り組んでまいります。

3.グループ基盤の強化

ミライアルグループが保有する、物的資産、金融資産等の「見える資産」を活用し、人材、技術、お客様との信頼関係等の「見えない資産」の強化に鋭意取り組んでまいります。

Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

ミライアルグループの目指す4本柱経営



現在、ミライアルグループは半導体関連製品事業に主軸を置いており、中でも300㎜FOSBを主力製品としております。また、次世代容器である450㎜FOSBに関しても、次世代の覇権を獲得すべく努めております。

このように、FOSBは弊社の大きな強みであり、同時に「FOSBに頼っている」という弱みでもあります。

こうした一極集中状態から脱却すべく、半導体業界の枠にとらわれない、グループの人的・物的資産を最大限に活かした新たな事業の展開に挑戦してまいります。また、既存事業においてコスト削減と品質向上による安定的な利益獲得を図り、新規事業挑戦への着実な土台を築いてまいります。

上記の経営目標を達成し、弊社の新たな時代を切り拓いていくステップとして、4本柱(FOSB事業、既存製品事業、山城／宮本／コラボ事業、新規事業)の機能化に取り組んでおります。

Copyright 2013 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

本日はありがとうございました

「ミライアルの未来」

明日に向かって

「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社　経理部

電話：03-3986-3782　FAX：03-3986-3853　E-Mail：investor_relations-m@miraial.co.jp

＜将来見通し等に関する注意事項＞

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

Copyright 2013 ©　Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.